

令和2年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1473301008	事業の開始年月日	平成17年12月1日
		指定年月日	平成17年12月1日
法人名	有限会社真全		
事業所名	グループホームまっとう		
所在地	(〒226-0026) 横浜市緑区長津田町2365		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和2年10月7日	評価結果 市町村受理日	令和2年12月11日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>グループホームまっとうはJR横浜線、田園都市線長津田駅より徒歩10分弱の緑豊かな高台にあります。施設から見える長津田周辺の街並みは絶景です。今年4月に施設に直結する長津田宿市民の森がオープンし環境が整備されプライベートパークの様に森林浴が楽しめます。まさに人と自然が一体となった生活空間は住んでいるご入居者様はもちろんですが訪れた人をも魅了しています。</p> <p>自治会の班長を2年間連続して努めさせて頂き今年の4月まで回覧板の管理や県や市の便りの配布、会費の集金等で交流を深めて参りました。入居者様に便りの配布のお手伝いをして頂いたり野菜をおすそ分けして頂いたりする様になりました。</p> <p>またグループホーム連絡会の副幹事を今年度も努めさせて頂きグループホーム間の情報も活用して他のグループホームの管理者との交流もあります。</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染防止の為行っておりませんが昨年度は5名が月1回のバリデーション研修に参加し日々のケアに生かされていると感じています。</p> <p>その他の研修にも積極的に参加しご入居者のケアの質の向上に努めております。</p>
---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階		
訪問調査日	令和2年10月29日	評価機関 評価決定日	令和2年11月26日

※新型コロナウイルス感染予防の為、事業所訪問をせずにオンライン調査を行っております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<h4>【事業所の概要】</h4> <p>この事業所はJR横浜線と東急田園都市線の長津田駅から徒歩10分程度の、小高い丘の上の緑地の中に位置している。庭が広くガーデンボランティアが季節の植栽などをして庭の管理をしている。隣接して「長津田宿市民の森」があり、緑の多い環境になっている。利用者は庭や森を散策したり、ウッドデッキで外気浴を楽しんでいる。</p> <p>建物は木造2階建てのログハウス風の外観で、大きな窓からの景観は四季折々の季節の変化を楽しめる。長津田東向地自治会に加入していて12世帯の班で回覧板が回っている。管理者は班長を2年引き受けて、ご近所と顔なじみになっている。</p> <h4>【理念の共有と実践】</h4> <p>理念は開所時に作成され『共に自然体（まっとう）に生きる』を柱に、「入居者の残存能力を活かす・嫌がる事は強制しない・信頼関係を築き、人生の先輩として敬う・困難にはチームで考え、取り組む」を掲げて理念に基づいた日々のケアを実践している。理念は職員が毎朝唱和しており周知されている。運営推進会議の資料や家族会の資料にも明記して共有している。利用者は食事の下膳や居室の掃除などできる事を職員と一緒に、できる事を継続できるように支援されている。</p> <h4>【日々のレクリエーションや機能訓練への取り組み】</h4> <p>毎日のレクリエーションは日勤の職員が担当していて室内でのゲームや制作、庭でのボール遊びをしている。機能訓練は生活の流れに組み入れていて、広い廊下を利用して歩行訓練をしたり、天気の良い日は庭に出て散策をしたり「長津田市民の森」の散策路を散歩している。毎日体を動かす機会を考えて、機能の維持ができるように配慮している。</p>
---

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームまっとう
ユニット名	Aユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

事業所名	グループホームまっとう
ユニット名	Bユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は事務所に掲示し朝礼で唱和し実践に繋げている。入居者様の残存能力を生かす事、信頼関係を築き人生の先輩として敬いの態度で接する事等会議でも理念に立ち返る事を共有している	『共に自然体（まっとう）に生きる』を柱に4項目の理念を開所時に作成している。理念は事務所に掲示して毎日、唱和して周知されている。家族会の資料や運営推進会議の資料にも明記している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の班長を今年4月まで努めました。会費の集金や回覧板、配布物を入居者様と一緒に配り、どんど焼き等に参加し馴染みの方とも会える機会があります。	長津田東向地自治会に加入していて管理者が班（12世帯）の班長をしていた。1月に地域で行われるどんど焼きに利用者とともに参加した。RUN伴2019に利用者が参加し最後のテープを切った。ガーデンボランティアが来て庭の管理をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	長津田支え合いネットの協力事業者として長津田地域包括支援センターとの関わりがあります。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し運営状況や活動状況報告を行っている。メンバーはご家族代表、自治会副会長、民生委員、地域包括支援センターの職員、法人本部職員、施設職員です。毎回テーマを決めて行っています。	運営推進会議は年6回定期的に開催して、活動報告、事故報告、情報交換、意見交換をしている。他に身体拘束や虐待、感染予防などのテーマを決めて話し合っている。メンバーは家族、自治会副会長、民生委員、地域包括支援センター職員、法人及び事業所の職員である。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	横浜グループホーム連絡会の副幹事を努め会議での交流があります。	グループホーム連絡会に緑区役所福祉高齢センター高齢・障害支援課の職員が参加している。市主催の「新型コロナウイルス感染対策」の研修に管理者が参加した。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	契約書に身体拘束をしない介護について明記し契約時に説明し外部、内部研修を実施し身体拘束虐待防止委員会を設置している。玄関のドアは開錠しているが防犯対策と安全を考慮して内側のドアは施錠している。	「身体拘束虐待防止委員会」を3か月ごとに開催し、内容をフロア会議で周知している。帰宅願望が強い利用者があり、落ち着かない時には話をよく聞き、寄り添いながら対応しているが、安全面を考慮して、各ユニット口は施錠している。玄関は開錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての外部内部研修を行い徹底している。虐待に繋がる不適切なケアについて学び共有している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	横浜グループホーム連絡会主催の成年後見制度の研修に参加し学ぶ機会がありました。成年後見制度を利用している入居者様が3名おられる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結にあたっては入居者様の不利益になる事がないことを基本に充分話し合いをし、不安疑問点がない形で入退去頂いております。変更、改定の際は同意書を頂いる。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年2回の家族会、運営推進会議、3か月に1回の介護計画書説明時、来訪時に意見交換や要望を伺い反映している。	年2回の家族会を設定しているが今年は開催を中止した。運営推進会議に家族2名が参加している。日頃の連絡時に意見や要望を聞いている。家族から歩行訓練の要望があり、毎日の生活の中での廊下歩行を機能訓練と位置付けて行っていると説明した事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会社全体での合同会議を月1回行い職員の意見を反映させている。毎月行われているフロア会議では職員の発言の機会を多くし反映させている。	毎月のフロア会議（現在は書面開催）で意見を出している。毎日の申し送りノートでも情報を共有している。職員から調理済み食材の配達業者に替えてはどうかとの提案があり料理を試食して業者を変更した。また、職員提案で紅葉観賞を芋煮会に変更した事例もある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課制度を導入しており職員の努力を反映させている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	特に新人職員を中心に外部研修に積極的に参加してもらい職員を育てる取り組みを行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	日本認知症グループ協会、神奈川県認知症グループホーム協議会、横浜グループホーム連絡会（青葉、緑ブロック会）の研修に積極的に参加している。横浜グループホーム連絡会主催のグループホーム相互の現場研修では職員を受け入れ派遣し交流の機会を設けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時にご家族に書いて頂く私の人生の歴史を参考にしながら困りごとや不安に思っていることを傾聴しその人らしさを理解した上でアセスメントシートや介護計画書を作成し信頼関係を築く様にしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約書や重要事項説明書の十分な説明を行い困りごとや不安に思っている事、要望を伺い信頼関係を築いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	身体面、精神面やご家族の関係等を充分アセスメントしどのような支援が必要か見極め他の社会資源も活用し最善のサービスを提供出来る様努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	認知症でも本人の人生を主体的に生きられる様残存能力を生かして出来ることはやって頂き対等な関係を築ける様に接している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には毎月居室担当者が手書きで「今月のお知らせ」として近況報告している。ラインやメールでもやり取りしてチームの一員として関わって頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前に仲良くされていて一緒に食事をされておられた方から定期的に電話があり取り次いでいます。また、ご家族の住んでいるご自宅に泊まりで帰られる方もおられる。	入居前の友人から電話や贈り物があり、お礼の電話をかける支援をしている。家族宅に外泊をする方もいる。8年前から来ているボランティアの方々とは顔なじみになっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様個々の性格を把握することにより孤立感を防止し、良い関係が築ける様職員が橋渡しをし、入居者同士で支え合える環境を作っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も電話を頂きまっとうに来られる方もおられる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃から傾聴を心掛け困り事や不安に思っている事を把握し表情から汲み取る様努めています。日々の情報を申し送りして把握し職員間で共有し改善に努め個別ケアを大切にしている。	日常の会話の中で把握した思いや意向を記録して職員間で共有している。会話ができない方の思いは表情や様子から汲みとって本人本位に検討し、個別ケアに反映している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	「私の人生の歴史」を書いてもらいアセスメントシートを活用して馴染みの人や場所の継続が出来る様把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	自由に過ごして頂く事を基本に強制ではなくひとり一人の出来る事を見極め出来ることは自分で行って頂いています。役割を持つことが生きがいに繋がる様支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員による毎月のモニタリングに加えご家族や医療関係者とのサービス担当者会議を実施し介護計画書を作成しています。必要に応じご家族を交えて今後の方針を納得できる迄話し合っている。	カンファレンスで話し合い、介護計画は原則長期目標6か月、短期目標3か月ごとに、変化のある時は随時見直している。医師やマッサージ師の意見をケアに反映している。介護計画の見直し時には家族の意向を確認している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日頃から個別記録を丁寧に記入する様に心掛け申し送りノートを活用して情報共有に努めています。個別記録は医療に関しては色分けし見やすくしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	1階2階に関係なく行き来出来る様柔軟に対応しています。週1回個別対応して頂ける傾聴ボランティアの方がおり4名から5名が来訪して下さり個別に会話を楽しんでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設に隣接している市民の森は毎日の日課の様に気軽に森林浴が出来ます。草笛の指導や歌、自治会の催し等地域資源を活かしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の内科往診があり必要に応じ他科への受診依頼をご家族に報告しご家族に対応して頂く事もあります。歯科往診は各階月1回口腔清掃や治療を行っている。	協力医療機関の医師が月2回訪問診療をしている。入所前からのかかりつけ医にも継続して受診している方がいる。皮膚科や整形外科へは原則、家族対応だが職員と行くこともある。非常勤の看護師が週1回出勤して利用者の健康管理をしている。歯科医は月1回訪問している。歯科治療は職員が付き添って受診している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員は業務日誌や申し送り、個人記録を充分確認し情報共有し処置を行っている。看護職員は対応内容を看護職員ノートや業務日誌に記載しフィードバックしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者が入院された時は職員が出来る限り訪問して現状把握しご家族と連絡を取り合い早期退院に向け病院関係者との話し合いに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時時に看取りについての詳しい説明を行い同意を得ている。看取りになった場合は心身の状況を勘案し急変時の対応についてご家族と主治医を交えて話し合いの場を設けている。いつでも来訪できる様に密に連絡を取っている。看取りを多く経験しておりご家族が希望すれば看取りが出来る体制があり施設に確実に根付いている。	契約時に「看取りに関する方針」を説明し「看取りに関する事前確認書」で承諾を得ている。看取りを希望する方に対応できるように看取りに関する研修をしている。終末期になったら再度、医師と家族と管理者で意向の確認をしている。この1年の間に3人を看取っている。医師と看護師には24時間連絡ができる体制になっている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	上級救命講習の受講者が職員の半数以上います。急変時の対応方法、避難訓練を実施している。			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を実施し避難手順を全職員が取得している。米や鍋、カセットコンロ、ランタンも準備し訓練実施日に合わせて備蓄品を使用し食事をしている。	12月に夜間の火災と台風災害時を想定した訓練、6月に地震による火災を想定した訓練を実施している。利用者と職員の3日分の水と食品の備蓄をしている。備蓄は管理表で確認しながら補充している。避難訓練は運営推進会議と同日に行い家族が参加している。ご近所にもチラシを配布して立ち合いを呼びかけている。冷蔵庫などの転倒防止がまだできていない。	いつ起こるかわからない災害に様々な工夫をしながら備えています。冷蔵庫や食器棚などの家電や家具の転倒防止をされるとさらに安全対策ができます。早急に対応されることを期待します。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ひとり一人の性格や行動を把握し詳しい説明や注意をせず人としての価値を認め、常に敬いの態度で接している。入職時の研修として職員の心得を読み合わせしている。	個人情報を含む書類は鍵のかかるキャビネットに保管している。入職時研修で言葉遣いや、守秘義務など職員として守るべき事項「職員心得」を指導している。運営推進会議の資料は、個人名をイニシャルで記載している。	利用者への接し方は親しんでくると配慮に欠けることも起きてきます。入所時だけの研修ではなく、接遇に関する研修を定期的に行い、言葉遣いや接し方について再認識する機会を持たれることを期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者本位を常に優先し充分傾聴し言葉にならない声を読み取るよう努め希望を伝えて頂ける様な質問や声掛けを工夫している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	職員の都合を優先しない様会議等で伝えている。その人のペースで食事をして頂いたりその日の体調や状況に合わせて過ごして頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分で髭剃りや整髪が出来き好きな衣類を選んで頂ける様にしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は刻み食やトロミを付けて提供するかたがおられ安全に提供出来る様職員で話し合いを行っている。食器を自分で片付けて頂いているかたが多く、お盆拭き等もお手伝いして頂いている。	食材業者が調理済みの食事や生野菜や果物を毎日届けている。おやつは職員の手作りが多い。時には食材配達を止めて好みの出前を取ったり、別途食材を購入して職員が調理することもある。利用者はできる事を手伝っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別に毎日の食事、水分摂取量を記録し把握している。状態に応じ食事形態や量を変えている。入居前からお好きなヨーグルト等を個人のおこずかいから頂き購入して毎朝お出ししている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科医の指導の下毎食後ひとり一人に対応した口腔ケアを行っている。先ずご自分で出来ることはやって頂き仕上げをさせて頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	出来る限りトイレで排泄出来る様排泄パターンや習慣を把握しオムツの使用を減らす様会議でも話し合い共有している。	排泄記録を付けて排泄パターンを把握し、声掛け誘導をしてトイレでの自立排泄を支援している。定時誘導で失禁が減少した方などの改善事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量を多くし、歩いて頂く事を基本として廊下歩行訓練や散歩を取り入れ便秘解消の努力をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週2回の入浴は決めているが入居者の体調や都合に合わせて日程や時間は柔軟に対応している。便汚染時はその都度入浴し、感染防止に努めている。	日曜日以外は毎日入浴が可能であり、利用者は週2回入浴をしている。浴槽を跨げない利用者も湯船に入れる構造になっている。入浴時は一人ひとりお湯を入れ替えている。浴室は職員が2人対応での介助ができるスペースがある。庭になっているゆずでゆず湯を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中でも疲れたら本人の希望を伺い休んで頂いている。また、入居前の習慣で遅くまで起きておられる方がおり歌詞付きのDVDをかけて歌っておられる方がいます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご家族の希望も踏まえて主治医と相談しながら薬の使用量を減らせる様努力しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ピアノが得意な方がおり毎日の日課としてピアノ伴奏での歌会やカーテンの開閉、お盆拭き、洗濯物たたみ、落葉清掃のバック詰め等のお手伝いをして頂いている。歩く事が好きな方がおり森林浴を積極的に行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	施設回りの散歩や森林浴、ドライブに出掛けています。パン屋さんでのおやつ母の日、父の日は皆様大好きなお寿司屋さんで外食、自治会の催しに参加している。	隣接している「長津田市民の森」に散策に出かけている。広い庭での散策や外気浴もしている。1月には自治会のどんど焼きに出かけた。地区の敬老会に3人の利用者が参加した。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	近くのコンビニに行き欲しいものをご自分で購入して頂く事もあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	新型コロナウイルスの感染拡大防止の為以前より電話でのやり取りが多くなりました。友人や親せきからの電話の取次ぎやFAXの返信を行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自分の部屋が理解出来ない方には名前を大きく表示したりトイレ表示も大きくしている。窓の外の景色を見ながら食事が出来る様に席を配置したところ食事を落ち着いて食べることが出来た事例がある。	リビングダイニングの大きな窓から森の桜や紅葉した木々が見え、季節の移り変わりを感じられる。ガーデンボランティアが庭に季節の植栽をしている。壁には行事や外出時の写真を掲示している。エアコンや加湿器を利用して空調の管理をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのソファに集まれるよう配置し気の合った方同士が隣席になれる様にしている。ひとりになれるソファもある。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族が訪問時に使用出来る様椅子を置いておられる方が多いです。仏壇やテレビやご家族の写真を置いておられる方もいる。	居室にはエアコン、照明、換気扇、収納、ナースコールなどが設置されている。利用者は好みの家具や椅子、テレビ、家族写真、仏壇などを持ち込んでいる。居室の掃除は職員が行っている。手伝う利用者も居る。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	書き物が出来る様に机や椅子を置いておられる方がおり居室で書き物をされている。		

# 目 標 達 成 計 画

事業所名       グリーンホーム手取      

作成日       令和2年12月3日      

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	事務所等の転倒防止対策は出来ているが冷蔵庫等の安全対策が出来ていない。	冷蔵庫等の転倒防止対策を早急に行う。	食器棚等の家電については設置済ですが冷蔵庫の転倒防止具は年内に設置します。	令和2年 12月中
2	36	ご家族様のポイントより入居者様を怒鳴っている場面には遭遇はと言う指摘を受け重く受け止めている。	接遇に関する研修を全職員に対してフロア会議を通じ年内に行う。	職員全員が接遇についての研修を受けてもらえよう先ず年内に2～3回に分けてフロア会議を行い情報共有する。	令和2年 12月10日迄 に実施
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。  
注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。